

平成31年度 事業計画及び収支予算（案）

平成31年（2019年）4月 1日から
（2020年）3月31日まで

一般財団法人 下松市笠戸島開発センター

目 次

一般財団法人下松市笠戸島開発センター事業計画(案) . . . P. 1
一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算(案) . . . P. 1 1
一般財団法人下松市笠戸島開発センター 収支予算内訳表(案) P. 1 3
資金調達及び設備投資の見込みについて P. 1 5

平成31年度 事業計画（案）

平成31年（2019年）4月 1日から
（2020年）3月31日まで

平成31年度一般財団法人下松市笠戸島開発センター

事業計画(案)

1. 平成31年度基本方針

本年度は、正味財産3,000千円を確保し、当財団の解散を回避しなければならない勝負の年でございます。当財団といたしましては、市の見解や、経営健全化検討委員会並びに総務省経営アドバイザー等派遣事業の提言に真摯に向き合い、健全な財団運営に努めてまいります。その上で地元の皆様とも意見交換を行いつつ、市民の皆様から必要とされる財団を目指してまいります。更に定款に記載されている事業の中で重要と思われる、「観光振興、レクリエーション及びふれあい交流に関する事業」においては、国民宿舎大城は言うまでもなく、笠戸島家族旅行村も含めた、更なる交流人口の増大に寄与すべく、笠戸島や下松市の活性化に努めてまいります。

国民宿舎大城につきまして、収益面では平成29年度並の売上を目標に、費用面では平成30年度の反省を元に、徹底的な経費削減を実施し、お客様はもちろんの事、取引業者、職員にとっても無くてはならない施設である事を再認識した上で、地域の皆様にとっても必要不可欠な施設を目指してまいります。そのために、企業人としての教育や料理研究に取り組み、利用者数増加を図ることはもちろん、継続可能な運営に努めてまいります。

また、笠戸島家族旅行村につきましては、目下の課題である冬期利用者数の増加を図るため、またアウトドアの楽しさを再認識できるような、さまざまな各種イベントを実施するとともに、村内の適正な管理運営と、更なる交流人口の拡大に努めてまいります。

本年度は、下松市制施行80周年の節目の年にもあたり、クルーズ船下松初寄港等、市の観光行政にも最大限協力しつつ、笠戸島や下松市に足を運んで下さるお客様に対して、再び訪れたいと思って頂ける、非日常空間の提供をしてみたいと思います。

2. 法人の目的を達成する為の事業

当財団の設立目的である、「労働の疲労を回復させ健全なレクリエーションの場を提供し、地域住民の福祉の向上と健康の増進を図るとともに、下松市の観光振興を図り交流人口の増大に寄与し、地域の活性化及び地域社会の健全な発展に寄与する」ために、以下の事項を基本として実施します。

(1) 国民宿舎事業

① 愛され誇れる国民宿舎

- ・ お客様に愛されるとともに職員が誇りを持って働ける国民宿舎を目指します。

② 地元第一の国民宿舎

- ・ 地元の皆様に親しまれ、日頃の疲れを癒せる場所としての国民宿舎を目指します。

③ 地域経済発展の国民宿舎

- ・ 地域企業や地域団体との関係を重視し、下松市の経済活動に寄与できる国民宿舎を目指します。

(2) 笠戸島家族旅行村管理運営事業

① 施設等維持管理業務

- ・ 施設及び設備を管理し、周辺環境を良好に維持することにより、お客様が常に安全で快適に利用できるよう努めます。
- ・ 良好な衛生環境、美観を維持し、公共施設として快適な空間を保つために、現在のニーズに合った必要な環境整備を行います。

② 軽食提供業務・売店業務

- ・ 軽食提供やバーベキューガーデンの食材提供、商品の販売を行い、気軽に足を運んで頂けるような接客に努めます。

③ レクリエーション及びふれあい交流業務

- ・ 各種イベントを実施し交流人口の増大を図るとともに、福祉施設等の各種団体への施設利用を促進し交流の場となるよう努めます。

(3) はなぐり海水浴場管理運営事業

① 遊泳者や海の状況を監視しつつ天候にも留意し、遊泳区域の危険箇所、危険生物の注意喚起等に気を配り、お客様の安全第一に努めます。

② お客様の安全を確保し緊急時に迅速に対応出来るよう、救急救命講習の受講等を行います。

③ お客様に快適に過ごして頂くため、管理区域内の環境美化に努めます。

(4) 誘致宣伝と交流の場の提供事業

交流人口拡大の一環として、各種イベントの開催や場所の提供をするとともに、他団体が実施する各種イベントにも積極的に協力いたします。

<平成31年度予定>

時期	行事名	内容
5月	笠戸島まつり	笠戸島に訪れるきっかけとしてのイベント。 会場提供と運営に協力するとともに飲食物 や売店商品の販売を実施。
6月	元気づくりにんにく収穫祭	飲食物や売店商品(特産品)の販売を実施し、 PRも行う。
7月	高速鉄道車両陸送見学イベント	売店商品(特産品)の販売を実施し、PRも 行う。
7月	はなぐり海水浴場海開き	はなぐり海水浴場管理運営事業として、安全 祈願祭の準備や進行を実施。
7月	夏休み親子陶芸教室	親子の日普及プロジェクトとしてのイベン ト。作品の製作を通じて親子の会話やふれあ いの時間を持って頂けるよう会場の提供を 実施し、PRも行う。
7月	キャンプ用品の展示即売会	新作キャンプ用品の展示会場を提供し、PR も行う。
8月	「ぱしふいっくびいなす」 下松初寄港オプションツアー	会場提供と運営に協力するとともに飲食物 や売店商品(特産品)の販売、送迎バスの運 行を実施し、PRも行う。

8月	産業観光ツアー（親子）	飲食物や売店商品の販売を実施し、PRも行う。
8月	職場体験（教職員）	教職員を対象に職場体験実習の受け入れを実施。
8月	くだまつ笠戸島 マリンイカダレース大会	笠戸島に訪れるきっかけとしてのイベント。 駐車場や入賞品の提供及びレース当日までの環境維持整備を実施。
9月	道の駅フェスタ	大城特製弁当や売店商品（特産品）の販売を実施し、PRも行う。
10月	産業観光ツアー（一般）	飲食物や売店商品の販売を実施し、PRも行う。
11月	くだまつ総踊り	飲食物の販売を実施し、PRも行う。
11月	農業公園秋まつり	飲食物の販売を実施し、PRも行う。
12月	まるごと笠戸島	笠戸島に訪れるきっかけとしてのイベント。 飲食物の販売を実施し、PRも行う。
2月	河津桜まつり	笠戸島に約500本植えられている河津桜のPRイベント。会場提供と運営に協力するとともに飲食物や売店商品の販売を実施し、PRも行う。
3月	くだまつ笠戸島アイランド トレイル	笠戸島に訪れるきっかけとしてのイベント。 前日は宿泊、前夜祭での飲食物の提供を実施。当日は会場提供と運営に協力するとともに給水場所の提供や送迎バスの運行を実施し、PRも行う。

3月	がんばろう日本フェスタ	飲食物の販売を実施し、PRも行う。
3月	宝の島っ子卒業イベント	笠戸島在住の小学校卒業生を対象に笠戸島の魅力を記憶に残してもらうイベント。会場や飲食物の提供、送迎バスの運行を実施。
通年	スポーツ大会等への出店	売店商品（特産品）の販売を実施し、PRも行う。
通年	自動車同好会への協力	周辺ゴミ拾いボランティア活動への協力として駐車場の提供を実施。
冬期	旅行村集客イベント	冬期の客足が遠のく時期に集客イベントを実施。

(5) 観光案内業務

周辺地域と連携して、笠戸島はもちろん、下松市や周辺地域の観光情報を提供し、観光客の要望に応えられるよう、観光案内業務に努めます。

- ・ 周南三市や県内各市の観光パンフレットを設置し、下松市のみではなく県内の観光振興にも寄与いたします。

3. 財団運営・管理方針

(1) 集客

- ① 平日利用を向上させるため、お客様のニーズに応じたプランを増やし、インターネットやチラシ、ダイレクトメールによる情報発信を行います。

- ② ホームページやSNSの更新頻度を高め、最新の情報を提供し利用し
たいと思われるよう営業活動に努めます。
- ③ エージェントに拡販活動及びPRを行い、ツアー客の獲得に努め、来館
されたお客様にはリピートして頂けるよう努めます。
- ④ ここでしか味わえない料理や体験できない演出、景観等はおお客様の記
憶に残ります。気軽に利用していただける価格帯を設定することで、リピ
ーター数の増大を図るとともに、お客様の口コミによる更なる集客の獲
得に努めます。
- ⑤ 下松市観光協会、下松商工会議所、下松旅館組合、下松飲食業協同組合、
くだまつ観光・産業交流センター等の関係団体と連携し、積極的な情報発
信に努めます。
- ⑥ 大城温泉については週末の利用時間を延長することにより、お客様の
利便性を提供するとともに、足湯のPRにも努めます。

(2) 接客・接遇

- ① 職員一人ひとりが常にプロ意識を持ち、今何をすべきか常に考えなが
ら接客に取り組めます。
- ② 接客を通じ快適な癒しの空間を常に提供するために、服装や言葉遣い
にも留意し、お客様に不快の念を抱かせないよう努めます。
- ③ お客様との会話を心掛け、お客様の要望を察知し行動できるようにす
るため、知識や情報を収集し細やかな接客に努めます。

(3) 料理

- ① 下松市の特産品である「笠戸ひらめ」や「笠戸とらふぐ」を料理の中心に置き、さらに市内産の「来巻にんにく」や「笠戸島レモン」なども取り入れつつ地産地消に努め、四季に応じた料理を提供します。
- ② 食事原材料については品質・価格を徹底的に追及し、満足していただける料理を提供します。
- ③ 食の安全・安心にも万全を期し、お客様の信頼を得られる料理を提供します。
- ④ お客様にとっては一期一会のお集まりであることに留意し、思い出として記憶に残る空間の演出に努めます。

(4) 収益性及び原価の改善

- ① 宿泊部門は、宿泊者数増加のため、さまざまなプランを企画するとともに、客室単価向上のため、特産の「笠戸ひらめ」・「笠戸とらふぐ」を使ったメニューに重点を置くことで、売上を最大化するよう努めます。
- ② 宴会部門では、同窓会・忘新年会・歓送迎会等、顧客増加のためのプランを企画するとともに、季節イベントや祝事・法要等において、お客様のニーズに合わせた料理やセッティングを行い、顧客満足度を高めることでリピーターの増加に努めます。
- ③ 「聖域」無き経費の見直しを行い、利益を阻害する要因を徹底的に削除します。
- ④ 市場調査や同業者等との情報交換を密にするとともに、納入業者にも最大限の協力を求め、原価の改善に努めます。

- ⑤ 食事材料や酒類飲料材料は、在庫管理や品質管理を徹底し、廃棄ロスや過剰在庫を持たないように原材料の適正化に努めます。
- ⑥ 売店材料は、売値の改善等を実施するとともに回転率の良い商品を抜粋し、収益の上がる店舗作りに努めます。

(5) 防災、安全衛生対策

- ① 笠戸島の防災拠点の責務を果たすため、備蓄品の管理を行い、地域住民の安全確保と迅速な対応に努めるとともに、消防署の協力による各種訓練を実施し、お客様の安全確保と迅速な対応に努めます。
- ② 定期的な点検・巡視を実施し、4 S（整理・整頓・清潔・清掃）の徹底と、危険箇所の早期発見に努めます。
- ③ 専門業者による害虫駆除及び衛生点検マニュアルを活用し、食中毒の防止に努めるとともに、食品衛生の研修に力を入れ、知識の習得に努めます。
- ④ 大城の浴槽、家族旅行村の足湯浴槽における洗浄・殺菌等を徹底し、レジオネラ菌発生防止に万全を期します。
- ⑤ 安全衛生委員会を通じ、職員への健康管理の情報提供を行い、労働損失を防ぐよう努めます。

(6) 施設等の改善

保守点検を始め、お客様からの声や職員の目による、修繕・更新に努めます。

(7) 財団財産管理

一般財団法人として、正確で迅速な事務、財産管理、顧客管理等に取り組み、各事業の活動基盤の確保に努めます。

(8) 人材育成

当財団を維持し誇りを持って働くために、財団職員として個々の主体性、自律性を持ち、能力向上を図るとともに、社会人としての規律維持に努めます。

平成31年度 収支予算 (案)

平成31年(2019年)4月1日から
(2020年)3月31日まで

平成31年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算(案)

平成31年(2019年)4月1日～2020年3月31日まで

【単位:円】

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,000	3,000	0	
基本財産受取利息	2,000	2,000	0	
特定資産受取利息	1,000	1,000	0	
事業収益	443,059,000	441,953,000	1,106,000	
宿泊料	132,300,000	119,590,000	12,710,000	
会議室料	360,000	480,000	△ 120,000	
休憩料	910,000	2,070,000	△ 1,160,000	
食事料	271,940,000	282,363,000	△ 10,423,000	
酒類及び飲料	37,549,000	37,450,000	99,000	
売店売上収益	52,550,000	54,660,000	△ 2,110,000	
売店収入	52,550,000	54,660,000	△ 2,110,000	
その他事業収益	41,340,000	40,780,000	560,000	
温泉使用料	29,950,000	28,410,000	1,540,000	
使用料	6,530,000	6,260,000	270,000	
雑収益	4,860,000	6,110,000	△ 1,250,000	
受託料収益	35,750,000	35,365,000	385,000	
管理収益	280,000	285,000	△ 5,000	
受託料	35,470,000	35,080,000	390,000	
雑収入	5,801,000	3,585,000	2,216,000	
受取利息	1,000	5,000	△ 4,000	
雑収入	5,710,000	3,490,000	2,220,000	
他会計からの繰入	90,000	90,000	0	
経常収益計	578,503,000	576,346,000	2,157,000	
(2) 経常費用				
事業費	551,303,000	567,621,000	△ 16,318,000	
給料	72,360,000	78,040,000	△ 5,680,000	
手当	36,420,000	35,370,000	1,050,000	
賃金	67,809,000	74,725,000	△ 6,916,000	
退職給付支出	4,390,000	5,000,000	△ 610,000	
法定福利厚生費	25,895,000	24,215,000	1,680,000	
厚生福利費	930,000	1,060,000	△ 130,000	
旅費	360,000	595,000	△ 235,000	
被服費	1,030,000	565,000	465,000	
食事材料費	105,090,000	102,120,000	2,970,000	
酒類飲料材料費	15,050,000	15,000,000	50,000	
売店材料費	38,880,000	39,760,000	△ 880,000	
備消耗品費	24,494,000	21,817,000	2,677,000	
燃料費	12,640,000	12,920,000	△ 280,000	
光熱水料費	26,260,000	26,000,000	260,000	
印刷製本費	2,450,000	3,725,000	△ 1,275,000	
通信運搬費	2,750,000	2,720,000	30,000	
広告料	3,200,000	2,400,000	800,000	
使用料及び手数料	11,426,000	10,313,000	1,113,000	
委託料	71,036,000	77,933,000	△ 6,897,000	

平成31年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算(案)

平成31年(2019年)4月1日～2020年3月31日まで

【単位:円】

科 目	当年度	前年度	増減	備考
研修費	110,000	60,000	50,000	
負担金	720,000	950,000	△ 230,000	
賃借料	13,013,000	16,243,000	△ 3,230,000	
公租公課	172,000	970,000	△ 798,000	
修繕費	2,600,000	1,380,000	1,220,000	
保険料	1,640,000	1,720,000	△ 80,000	
洗濯料	8,740,000	10,350,000	△ 1,610,000	
販売促進費	1,000,000	756,000	244,000	
食糧費	264,000	158,000	106,000	
交際費	64,000	116,000	△ 52,000	
減価償却費	320,000	300,000	20,000	
法人税等	100,000	250,000	△ 150,000	
他会計への繰出	90,000	90,000	0	
経常費用計	551,303,000	567,621,000	△ 16,318,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	27,200,000	8,725,000	18,475,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	27,200,000	8,725,000	18,475,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産取得支出	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
予備費	100,000	100,000	0	
経常外費用計	100,000	100,000	0	
当期経常外増減額	△ 100,000	△ 100,000	0	
他会計振替額			0	
当期一般正味財産増減額	27,100,000	8,625,000	18,475,000	
一般正味財産期首残高	△ 54,651,143	△ 63,276,143	8,625,000	
一般正味財産期末残高	△ 27,551,143	△ 54,651,143	27,100,000	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	71,200,000	71,200,000	0	
一般正味財産振替額	0	0	0	
指定正味財産期末残高	71,200,000	71,200,000	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	43,648,857	16,548,857	27,100,000	

平成31年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算内訳表(案)

平成31年(2019年)4月1日～2020年3月31日まで

【単位:円】

科目	国民宿舎事業	笠戸島家族旅行村事業	はなぐり海水浴場事業	小計	法人会計	内部取引消去	合計	備考
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	3,000	0	3,000	
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,000		2,000	
特定資産受取利息	0	0	0	0	1,000		1,000	
事業収益	438,160,000	4,899,000	0	443,059,000	0	0	443,059,000	
宿泊料	132,300,000	0	0	132,300,000	0		132,300,000	
会議室料	360,000	0	0	360,000	0		360,000	
休憩料	910,000	0	0	910,000	0		910,000	
食事料	267,450,000	4,490,000	0	271,940,000	0		271,940,000	
酒類及び飲料	37,140,000	409,000	0	37,549,000	0		37,549,000	
売店売上収益	49,590,000	2,960,000	0	52,550,000	0	0	52,550,000	
売店収入	49,590,000	2,960,000	0	52,550,000	0		52,550,000	
その他事業収益	36,000,000	5,340,000	0	41,340,000	0	0	41,340,000	
温泉使用料	29,950,000	0	0	29,950,000	0		29,950,000	
使用料	1,190,000	5,340,000	0	6,530,000	0		6,530,000	
雑収益	4,860,000	0	0	4,860,000	0		4,860,000	
受託料収益	0	32,400,000	3,350,000	35,750,000	0	0	35,750,000	
管理収益	0	0	280,000	280,000	0		280,000	
受託料	0	32,400,000	3,070,000	35,470,000	0		35,470,000	
雑収入	2,980,000	2,731,000	0	5,711,000	90,000	0	5,801,000	
受取利息	0	1,000	0	1,000	0		1,000	
雑収入	2,980,000	2,730,000	0	5,710,000	0		5,710,000	
他会計からの繰入	0	0	0	0	90,000		90,000	
経常収益計	526,730,000	48,330,000	3,350,000	578,410,000	93,000	0	578,503,000	
(2) 経常費用								
事業費	499,580,000	48,280,000	3,350,000	551,210,000	93,000	0	551,303,000	
給料	70,320,000	2,040,000	0	72,360,000	0		72,360,000	
手当	35,220,000	1,200,000	0	36,420,000	0		36,420,000	
賃金	48,480,000	17,400,000	1,929,000	67,809,000	0		67,809,000	
退職給付支出	4,390,000	0	0	4,390,000	0		4,390,000	
法定福利厚生費	21,380,000	4,500,000	15,000	25,895,000	0		25,895,000	
厚生福利費	840,000	90,000	0	930,000	0		930,000	
旅費	310,000	50,000	0	360,000	0		360,000	
被服費	910,000	120,000	0	1,030,000	0		1,030,000	
食事材料費	103,090,000	2,000,000	0	105,090,000	0		105,090,000	
酒類飲料材料費	14,850,000	200,000	0	15,050,000	0		15,050,000	
売店材料費	36,680,000	2,200,000	0	38,880,000	0		38,880,000	
備消耗品費	22,470,000	1,947,000	67,000	24,484,000	10,000		24,494,000	
燃料費	11,940,000	700,000	0	12,640,000	0		12,640,000	
光熱水料費	22,360,000	3,900,000	0	26,260,000	0		26,260,000	
印刷製本費	1,730,000	700,000	10,000	2,440,000	10,000		2,450,000	
通信運搬費	2,540,000	200,000	10,000	2,750,000	0		2,750,000	
広告料	1,900,000	1,300,000	0	3,200,000	0		3,200,000	
使用料及び手数料	11,400,000	13,000	10,000	11,423,000	3,000		11,426,000	
委託料	64,570,000	5,150,000	1,246,000	70,966,000	70,000		71,036,000	
研修費	50,000	60,000	0	110,000	0		110,000	
負担金	630,000	90,000	0	720,000	0		720,000	
賃借料	10,870,000	2,100,000	43,000	13,013,000	0		13,013,000	

平成31年度 一般財団法人下松市笠戸島開発センター収支予算内訳表(案)

平成31年(2019年)4月1日～2020年3月31日まで

【単位:円】

科目	国民宿舎事業	笠戸島家族旅行村事業	はなぐり海水浴場事業	小計	法人会計	内部取引消去	合計	備考
公租公課	150,000	22,000	0	172,000	0		172,000	
修繕費	800,000	1,800,000	0	2,600,000	0		2,600,000	
保険料	1,480,000	160,000	0	1,640,000	0		1,640,000	
洗濯料	8,510,000	230,000	0	8,740,000	0		8,740,000	
販売促進費	940,000	60,000	0	1,000,000	0		1,000,000	
食糧費	230,000	24,000	10,000	264,000	0		264,000	
交際費	30,000	24,000	10,000	64,000	0		64,000	
減価償却費	320,000	0	0	320,000	0		320,000	
法人税等	100,000	0	0	100,000	0		100,000	
他会計への繰出	90,000	0	0	90,000	0		90,000	
経常費用計	499,580,000	48,280,000	3,350,000	551,210,000	93,000	0	551,303,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	27,150,000	50,000	0	27,200,000	0	0	27,200,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	27,150,000	50,000	0	27,200,000	0	0	27,200,000	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用								
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	
予備費	50,000	50,000	0	100,000	0	0	100,000	
経常外費用計	50,000	50,000	0	100,000	0	0	100,000	
当期経常外増減額	△ 50,000	△ 50,000	0	△ 100,000	0	0	△ 100,000	
他会計振替額							0	
当期一般正味財産増減額	27,100,000	0	0	27,100,000	0	0	27,100,000	
一般正味財産期首残高	△ 56,488,398	1,339,515	0	△ 55,148,883	497,740	0	△ 54,651,143	
一般正味財産期末残高	△ 29,388,398	1,339,515	0	△ 28,048,883	497,740	0	△ 27,551,143	
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	71,200,000	0	71,200,000	
一般正味財産振替額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	71,200,000	0	71,200,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 29,388,398	1,339,515	0	△ 28,048,883	71,697,740	0	43,648,857	